

2025年度 CST研修 参加学生の感想まとめ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

5年生	<p>頭頸部・耳鼻咽喉科のCST実習に参加させていただき、鼻腔や耳の解剖だけでなく、外科的手技についても間近で学ぶことができました。実際に経鼻内視鏡に触らせていただいたことで、手技の難しさと同時に、その魅力や楽しさも実感することができました。</p> <p>解剖学や頭頸部・耳鼻咽喉科の実習を既に終えていたため、より深い理解をもって臨むことができ、頭頸部・耳鼻咽喉科領域への興味が一層深まりました。</p> <p>最後に、熱心にご指導くださった先生方、私たち学生にご献体してくださった方、そしてそのご家族へ心より感謝申し上げます。貴重な経験となりました。ありがとうございました。</p>
5年生	<p>頭頸部・耳鼻咽喉科のCST実習に参加し、頸部・鼻腔・耳の解剖を見学することで、臨床手技への理解を一層深めることができました。特に、鼻腔や耳の手術で起こりやすい合併症の原因について学び、臨床とのつながりを意識しながら理解を深めることができました。さらに、実際に手を動かしながら内視鏡で鼻腔内を観察する体験は非常に貴重で、大変充実した時間となりました。</p> <p>今回の実習を通じて、解剖学を定期的に復習することの重要性を改めて実感するとともに、自分がどの分野に興味を持ち、将来的にどの診療科を志望したいかを考える良いきっかけにもなりました。</p> <p>このような貴重な学びの機会をいただき、心より感謝申し上げます。今後も機会があれば積極的に参加し、学びを深めていきたいと考えております。本当にありがとうございました。</p>
5年生	<p>今日は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。病院実習が始まって、手術見学では生きている人間の美しさに感動すると同時に、解剖学の不勉強を後悔しておりました。先生に解剖をいちから教えて頂き、その上で手術を説明と共に見ることができて大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
3年生	<p>今日の耳鼻科のCST研修を通して、鼻と耳、眼窩底、頭蓋底の繋がりを改めて立体的に認識でき、自分の中でイメージを形作ることが出来ました。また、先生方に内視鏡を体験させてもらい、とても得難い経験をさせて頂きました。改めて耳鼻咽喉科・頭頸部外科の先生方ありがとうございました。</p>
3年生	<p>CST研修という貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。2年次の解剖で得た知識を思い起こしつつ、実際の手術に近い視野や内視鏡を通した視野を通してより臨床的な形で人体の構造や手術手技、そして、手術に要求される大胆さと繊細さを学ぶことができました。特に耳鼻科の手術に関しては、実際に見学する機会はもちろんなく、映像でも目にするとはほぼなかったため、今回の研修により格段に理解が深まったように感じています。トレーニングを行っていた専攻医の先生が手技に苦戦されている様子もあり、実際に手術を行う前にCSTを経験することの重要性も感じました。今回の経験は、今後医学を学び、特に外科領域を理解する上で非常に有益なものであると思います。この機会を無駄にしないよう、今後も勉学に励んでいきたいと思っております。</p>
3年生	<p>研修では、内視鏡を実際に操作する貴重な経験をさせていただき、解剖学的構造の理解が深まりました。実際の手技を通して、教科書や図譜での学習だけでは得られない立体的な理解ができ、大変勉強になりました。また、先生方によるご指導も丁寧で、今後の臨床実習や手技練習に対するモチベーションがさらに高まりました。このような貴重な機会をいただき、改めて感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。</p>

脳神経外科

6年生	<p>初めて参加させていただきましたが、オベ見学の時よりも詳しく時間をかけて見ることで、大変貴重な時間になりました。</p> <p>人数が多くなかなか全員が手技をやる、というのが難しかったと思うので、人数を制限してもいいのかなと少し思いました。</p>
6年生	<p>この度はご多忙の中、CST研修に参加させていただくという貴重な機会を賜り、誠にありがとうございました。本日の研修は、今後の学びや将来のキャリア形成に向けて、大きな励みとなりました。私は将来的に脳神経科に携わりたいと考えており、その実現のために日々の学びを大切に、研鑽を積んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願申し上げます。</p>
5年生	<p>正円孔、卵円孔等とその場所を通る神経についていつも混乱してしまっていたのですが、実際に頭蓋内の走行を見ることで強く印象に残りました。先生方の剖出の技術は凄まじく、とても綺麗な神経を見ることができ、感動しました。開頭等で体験させていただけることも多く、いつも以上に積極的な姿勢で取り組んでよかったと思います。場所を代わろうにも動けない状況もあったので、見れていない/見えにくい場所にいる人との交代が課題かもしれないと思いました。欲を言えば、spineや小脳、脳幹は見えていなかったのですが、そのあたりも少し見たかったです。</p>
4年生	<p>全体を通して非常に質問しやすい環境で、また手術体験も積極的に誘ってくださったため非常に深く学ぶことができました。研修自体には大変満足しているのですが、部屋が少し暑かったこともあり給水休憩の時間を取ってもらえたらよりありがたかったです。改めて、研修に参加させていただきありがとうございました。</p>
4年生	<p>今回初めて脳神経外科のCSTに参加しました。実際の開頭手術と同じように、ドリルや電気メス、手術用顕微鏡を使わせてもらうことができ嬉しかったです。ご遺体が亡くなってからの時間経過や固定状況の影響で脳は萎縮し軟化した状態でしたが、その状態でも神経や血管、脳溝を剖出し解説をして下さったので、とても解剖学の復習になり、とても繊細な作業の連続であることを実感できました。時間が許せば、脳血管カテーテル手術や経鼻内視鏡手術も見てみたかったです。病院実習に期待します。ありがとうございました。</p>
4年生	<p>先日はCST研修に参加させて頂き、ありがとうございました。2回生の時には見られなかった、脳の内部からの神経の走行などを実際に見ることができ、さらに脳神経系への理解、興味が深まりました。また、先生方の手技が私が解剖をしていたときを思うと本当に鮮やかでスピードも早く、構造の理解と手技の訓練の重要性を改めて感じました。脳神経外科では顕微鏡手術をすることは知っていましたが、初めて実際に顕微鏡越しに組織を見て操作をするという様子を見学し、触らせて頂くこともできて、とても良い体験になりました。想像していたよりも構造がとても立体的に見えて、しかしその分操作は難しいように感じました。このような細かい知識や手技を日々行っている脳外科の先生方への憧れが強まり、これからはもっとしっかり勉強して、先生方のされていることをもっと深く理解できるようになりたいと思いました。とても貴重な体験をさせて頂き、参加できて本当によかったです。ありがとうございました。</p>
3年生	<p>CSTに触れた脳は解剖学実習の時に触った脳とは感触が違い、脳はこんなに柔らかいんだと改めて実感しました。脳外科の先生方は皮膚切開から側頭骨の剥離、中枢神経系を探り当てるまでがとても早く、実際に行程の一部を経験させてもらいましたが、操作が難しく脳外科手術の難しさの一端を知れました。また、先生方には手術顕微鏡でCN1～5までの範囲を見せてもらい、一つずつ場所と繋がりを教えてもらったので、神経配置の立体的なイメージを掴めました。貴重な機器に触れたことも含めて、得難い経験をありがとうございました。改めて、CSTに携わって頂いた先生方、ありがとうございました。</p>
3年生	<p>今日は貴重な体験をありがとうございました。自分の興味のある脳神経外科を見学させていただいてとても楽しかったです。人数が10人と多かったことからなかなか術部が見つらく、体験もあまり出来なかったことだけが惜しかったです。先生方が手を動かしながら問いを与えてくださったり、どうやって手術をするのかを詳しく教えてくださったのでとても勉強になりました。</p>

3年生	CST研修という貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。脳神経外科のCSTということで、開頭手術の術式を見学し、一部を体験させていただきました。切開の部分や機械の性能、使い方などにある手術を円滑に行うための工夫を説明していただけたのは特に勉強になりました。今回得られた経験は、今後医学を学び、とくに外科領域を理解していく上で大変有益なものになると考えています。この機会を無駄にせず、今後も研鑽を重ねてまいりたいと思います。
大学院生	薬剤師の私には初めてであり、実物(ヒト)身体の解剖、及び構造の確認等を通して、様々な勉強をさせていただきました。実物の神経や血管、骨格、臓器の配置や感触、色彩、強度、及び病態になった時の変化等、今後の病態メカニズム解明や創薬、治療戦略等の研究に役立てたいと思います。この研修は医学生や研修医を対象とした手術手技訓練が主な目的ですが、勉学・研究等を目的として、オペ後投薬治療に関わる病院薬剤師志望の薬学生をはじめ、オペ看護師志望の看護学生、製薬研究者(但し、医療的倫理観から医療系国家資格を持つ人が望ましい)へも対象を広げてはどうでしょうか？

整形外科	
4年生	全体を通して非常に質問しやすい環境で、また手術体験も積極的に誘ってくださったため非常に深く学ぶことができました。(特に縫合の技術は一日で大変成長できました。)個人的には、肩の見学をするために膝の解剖を諦めなければいけなかったことが残念でした。また部屋が少し暑かったこともあり給水休憩の時間を取ってもらえたらありがたかったです。改めて、研修に参加させていただきありがとうございました。
3年生	今日は貴重な体験ありがとうございました。自分の祖母が最近受けた膝関節の人工関節手術について詳しく知れてとても楽しかったです。実際に前十字靭帯と後十字靭帯を切ったときの足の動き方を体で感じることが出来てとてもいい経験になりました。途中から先生達が専門分野に入って説明が少なくなったので、もう少し解説していただきたいなと思いました。
3年生	CST研修という貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。整形外科のCSTということで、主には膝の人工関節を入れる手術の一部を見学し、一部を体験させていただきました。2年次に行った膝関節の解剖との共通点も多く、良い復習になったと同時に、腱の再建術など新たな知識も学ぶことができました。また、縫合方法を丁寧に教えていただけたことも非常に勉強になりました。今回得られた経験は、今後医学を学び、とくに外科領域を理解していく上で大変有益なものになると考えています。この機会を無駄にせず、今後も研鑽を重ねてまいりたいと思います
3年生	幼少期からスポーツに取り組んでおり外科の中でもとりわけ整形外科に興味があった、第2学年で学んだ解剖の復習、以上2点を理由に今回は参加させていただきました。かなり解剖で学んだ知識を忘れてしまっていて反省するとともに、前十字靭帯や後十字靭帯が損傷してしまった場合の膝の動きを実際に解剖しながら見学出来たこと、縫合の練習など普段の授業とは違う体験が出来たのでとても面白かったです。来年は違う科のCST研修にも参加してみようと思います。

一般・消化器外科	
6年生	CST研修では、以前から拝見しかかった右胃大網動脈の剖出を間近で学ぶ機会をいただき、術野の取り方や層の意識を実地の目線で掴むことができました。あわせて、病院実習では触れにくい電気メスの取り回しや腹腔鏡器具の基本操作にも触れ、臨床実習では経験できなかった手順の勘所を身につける大変貴重な練習の機会になりました。また、従来のホルマリン固定による系統解剖では色調に乖離を感じていましたが、Thiel固定では臓器の血色や質感が保たれ、構造の連続性が読み取りやすかったことが強く印象に残りました。疾患ベースで積み上げてきた知識が、実際のランドマークと結びつき、診療場面でのイメージが具体化した実感があります。献体くださった故人とご遺族、準備とご指導を賜った先生方・スタッフの皆様、心より御礼申し上げます。貴重な学びの機会をありがとうございました。未筆ながら、この経験を今後の臨床研鑽の糧としてまいります。引き続きご指導のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
5年生	消化器の解剖の知識がかなり抜けてしまっていると感じて帰ることができました。消化器は脳以上に臓器の崩れを覚悟していたのですが、Thiel法での固定の度合いなども知ることができ、良い経験となりました。メス、電気メスや縫合と様々な手技を経験させていただき、特に電気メスについては初めての経験だったため大変興味深く感じました。肝臓や脾臓を持ち上げる経験はあまりないので、2年次の解剖を思い出しながら、重みや大きさ、位置を感じる事ができました。先生方もおっしゃっていましたが、消化器領域ではまだまだたくさんの方が学べる状態で時間が来てしまったので、もう少し余す所なく学ぶことができたなら良かったなと思います。
5年生	CST研修という貴重な機会に参加させていただき、誠にありがとうございました。将来外科を志望する身として、とても有意義で学びの多い時間を過ごすことができました。特に印象に残ったのは、実際に手術で使用する腹腔鏡を用いた模擬体験です。自分の手で操作して見ることで、技術的な難しさや繊細さを実感し、改めて外科医の技量の高さを感じました。今までも外科志望は揺らぐことはなかったのですが、今回のCST研修を通してより一層消化器外科への思いが強くなりました。アドバンスクリクラ実習でも選択させていただきたいと考えおります。よろしくお願ひいたします。人数が少し多く、時間限られていたため、先生方のご都合もあるかと存じますが、もう少し時間を取ってご指導いただければ、さらに深い学びにつながるのではないかと感じました。改めて、このような貴重な研修の機会をいただきありがとうございました。
5年生	CST研修では2年次の解剖学実習の時のようにご遺体を用いた実習であり、ご遺体に感謝して臨みました。3年ぶりの解剖実習に懐かしさを感じつつ、2年の時とは違い臨床に即した消化器外科での手術を模擬体験しながら解剖について理解を深めることができました。腹腔鏡や電気メスなどは実習でよく見ますが、学生では使う機会がないため、非常に貴重な体験でした。今回の実習を経て消化器外科についてさらに興味を持つことができ、外科医にとって必要な解剖学をより深く学んでいきたいと思いました。
4年生	今回初めて一般・消化器外科のCSTに参加しました。まず人体で初めて腹腔鏡を使わせて頂き、その難しさを実感すると共に先生方の正確な手捌きに感動しました。自分の体の向きとカメラの向きが違うのに違和感がありましたが、短時間でも徐々に慣れていく感覚もあり、もっと練習してみたいくなりました。その後、開腹術に移行し、腸や胃、肝臓やその周辺の血管の走行や孔を解剖学的な知識の復習として観察しました。平面として記憶していた知識を立体として理解し直すことができ良かったです。胆嚢切除の手技は、肝臓を傷つけないように電気メスを扱うのが難しかったです。最後に閉腹の際、メディカルトレーニング部で練習していた糸結びが上手く出来て褒めて頂いたのがとても嬉しかったです。これだけでも十分様々な体験をさせて頂きましたが、時間があれば、胃を切除し食道と小腸を接合する実際の手技も見られたら良かったのですが、病院実習に期待します。ありがとうございました。
3年生	今日は貴重な機会を頂きありがとうございました。消化器外科の先生方が私たちの希望に応じて下さりとても充実した時間になりました。立って説明を聞いているだけで疲れやすく感じる部分もあったので実際に作業をさせて頂いてとても満足です。
大学院生	薬剤師の私には初めてであり、実物(ヒト)身体の解剖、及び構造の確認等を通して、様々な勉強をさせていただきました。実物の神経や血管、骨格、臓器の配置や感触、色彩、強度、及び病態になった時の変化等、今後の病態メカニズム解明や創薬、治療戦略等の研究に役立てたいと思います。この研修は医学生や研修医を対象とした手術手技訓練が主な目的ですが、勉学・研究等を目的として、オペ後投薬治療に関わる病院薬剤師志望の薬学生をはじめ、オペ看護師志望の看護学生、製薬研究者(但し、医療的倫理観から医療系国家資格を持つ人が望ましい)へも対象を広げてはどうでしょうか？